

国際アカデミー招致委員会 調査報告書

公益社団法人姫路青年会議所

2017年度 国際アカデミー招致委員会

INDEX

1 はじめに

2 概要

- 国際アカデミー概要
- 目的
- 過去の開催地

3 国際アカデミー事業

- 国際アカデミースケジュール
- PR活動（国内、海外）
- 国際アカデミー開催スケジュール
- 開催地の担当職務
- 開催地プログラム

4 2017年度の取り組み

- 行政助成金一覧(2017年度)
- 学校調査
- 施設、会場調査
- イスラム教徒、ハラルについて

5事業後アンケート結果

- お城まつり事業
- HDF事業

6 第30回国際アカデミーIN熊本参加報告

7 おわりに

■はじめに

公益社団法人姫路青年会議所は、2013年より国際会議の開催招致に向けて調査に取り組み始めました。そして、2016年より国際アカデミー招致に本格的に取り組んでおります。

民間外交である国際アカデミーは、行政、市民、企業、各種団体と連携することで、多くの人たちに影響を与えます。

従来は、国や行政が中心となり、国際化を推進してきました。しかし、経済のボーダレス化、グローバル化が進み民間を中心とした国際交流が重要となってきました。姫路のまちが国際化をしていくためには、一人ひとりの顔の見える交流が重要となります。異なる文化や価値観との出会いは、まちの魅力や文化や歴史の再認識をうながします。その出会いこそが、人の成長につながって行き、産業、経済、文化などさまざまな分野で地域の活性化がもたらされ豊かな地域になっていくと考えます。

開催することで、多くの方々に国際交流の機会を与え、異なる文化や価値観と出会えます。そして、姫路のまちを伝えることで姫路の魅力を再認識することができます。

なかなか国際の機会に出会うことがない小さな子どもたちや、これから地域を担っていく若者にも国際交流の機会を与えることができ、国際感覚を養っていただけます。そして姫路市などの行政や企業、各種団体には、世界中の多くの方々にアピールする機会が生まれます。姫路を好きになる人が増え、姫路を広くアピールすることが、兵庫の姫路から世界の姫路への発展に繋がって行きます。そして姫路の魅力を感じた国内外の参加者は、姫路のまちを好きになり、また姫路を訪れたいとなります。

私たちは、過去、HIMEJI DREAM FESTAなど、様々な事業で、行政、市民、企業、各種団体と連携しております。そして今年度も今まで培ってきた連携をし、歩んできた道を再確認すると共に、さらなる連携先を求め事業展開をして参ります。

公益社団法人日本青年会議所国際アカデミーとの連携していき、プレアカデミーでは多くの現役メンバーを巻き込んで参りました。また、行政からの助成金の調査、施設などの調査や、学校の現状、国際アカデミー事業の調査などが、公益社団法人姫路青年会議所の国際アカデミー開催に繋がります。

■ 2 国際アカデミー概要

■ 国際アカデミーとは

2013年から公益社団法人姫路青年会議所は、国際会議の開催招致に向けて本格的に取り組み始め、昨年度の総会にて、日本青年会議所主催の国際事業である「国際アカデミー」の招致に向けた活動を開始することが承認されました。

公益社団法人日本青年会議所のメイン事業の一つである「国際アカデミー」は、1987年11月のアムステルダムにおける世界会議でJCIの公認行事として正式に承認されています。

姫路JCからも直前理事長神澤正太郎君をはじめ、9名のグローバルネットワーカーを輩出しています。（現役8名、シニア1名）

国際アカデミーは、各NOMの次年度会頭候補者が一同に日本に集まり人的ネットワークを構築しただけではなく、海外参加者の日本のJC運動に対する理解の促進と日本各地で開催することによって様々な日本文化を世界に紹介し、日本という国に対するいろいろな角度からの理解を促します。さらに、日本のJCメンバーにとっても多くの海外メンバーとの交流は、世界を身近に感じることができると同時に、グローバルな視点を養うことができます。異なる宗教・文化背景から価値観の違う者同士が寝食を共にしながら研修することで、お互いの違いを理解し、尊重し合い、かつ、JAYCEEとして同じ志を高め合い、今後の活動の方向性を共有し合う貴重な機会を提供しています。

開催地域においても多大な影響を与えています。開催地として実施するプログラムでは、世界規模で直面する課題に対して、地域ならではの解決方法を提案、模索する絶好の機会であり、運動発信を行うことができます。

また、市民と海外参加者が交流することで、世界を身近に感じることができ、これからの国際社会で必要な人材の育成につながります。姫路で開催することは、日本はもとより姫路のファンになっていただける機会となります。

開催地LOMとして、行政、各種団体との連携がより密になります。そして新たなことにチャレンジする青年経済人の団体としての認知度が向上し、青年会議所運動の発信が容易になります。

1988年からはじまった世界各国の青年会議所メンバーと日本各地の青年会議所メンバーが一緒になって取り組むリーダーシップトレーニングです。毎年1回、日本各地の年で開催されてきました。

世界各國の青年会議所のうち、約70カ国が参加します。その国の青年会議所の次期TOPが日本に集まり、日本各地の青年会議所メンバー約70名と一緒にトレーニングを積みます。

世界中・日本中から
姫路に人が集まる！



大きく分けて次の3つがあります。

1. リーダーシップトレーニング。
 2. 参加者同士がお互い知りあいを促すための交流。
 3. 開催地の文化や特色を感じてもらうための体験、観光、開催地住民との交流。
- 参加者はこの3つに関する様々なプログラムを行います。

参加者はこの3つに関する様々なプログラムを行います。



リーダーシップトレーニング

参加者同士の交流



開催地での人気



1. 世界70カ国の人と交流できるチャンス！

- この機会を逃さず世界の行々との交流に挑戦してみよう！
普段はなかなかできない異文化との交流を楽しもう！
- 2. 世界各地・日本各地の人に販路を知ってもらおう**
- 多くの人が訪れる機会には販路のまちがちな街なのか知ってもらおう
大チャンス。私たちの住む販路のまちを好きになってもらう！

海外参加者は、近い将来、その国家青年会議所の会頭や、指導者になる人材がほとんどです。本年度までに2,400人以上のグローバルネットワーク（プログラム修了者）を輩出してきました。国際アカデミーは、7つの目的をもち、日本青年会議所主催で毎年1回開催しています。

- ①世界各地から集まった参加者同士が相互理解を深める。
- ②日本人参加者が、海外参加者との相互理解を深める。
- ③海外参加者が、日本文化を理解する機会を提供する。
- ④参加者の資質向上のトレーニングの機会を提供する。
- ⑤JC組織のリーダーとしてのリーダーシップ・トレーニングの機会の提供とする。
- ⑥JCIの理解を深め、JCIの発展の為に寄与するグローバル・ネットワーカーを育成する。
- ⑦上記の目的を通して、JCIの目標である「恒久的且つ永続的な世界平和」を実現貢献する。

■過去開催地

回	年度	開催地	テーマ	国内	海外	参加者 合計	コースリーダー
1	1988	沖縄 東京	なし	55	45	100	ポール・ハーシー(カリフォルニア大学教授) ラモン・テル・ロザリオ(フィリピン大使) グレゴリー・クラーク(上智大学教授)
2	1989	仙台 横浜	なし	30	54	84	ダニエル・クイン・ミルズ(ハーバード大学名誉教授) アラン・M・ウェバー(ハーバードマネージングエディター)
3	1990	宮崎 広島	なし	41	56	97	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威) ロナルド・ソーラー(カリフォルニアJC会頭)
4	1991	三木 洋上	なし	13	68	81	青木 保(大阪大学人間科学部教授) 安岡 利美(国際交流協会専務理事) C・W・ニコル(ナチュラリスト) ビル・ポッター(JCITトレーナー)
5	1992	神戸 広島 北九州	なし	52	62	114	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威) ビル・ポッター(JCITトレーナー)
6	1993	三國 戸原 会津 東京	なし	53	64	117	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威) 内海 学(大蔵省顧問)
7	1994	岐阜 東京 横浜	なし	50	67	117	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威)
8	1995	北上 仙台 横浜	なし	49	75	124	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威) スティーブ・バンメーター(地球教育研究所代表)
9	1996	倉敷 金沢	なし	66	73	139	ブレイン・パートレット (アパタリソースインクCEO コーチング世界的権威)
10	1997	北九州 横浜	なし	56	80	136	ブレイン・パートレット エドワード・ダニエル(日米外語学院代表) 高木 義之(NPO法人地球村代表) 小田 全宏(ルネッサンス・ユニバーシティ代表) 林 泰義(計画技術研究所所長) 村田 義朗(エム環境デザインシステム所長)
11	1998	新潟 横浜	なし	54	72	126	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭) 近辻 宏樹(新潟県佐渡トキ保護センター所長) 大熊 孝(国立新潟大学工学部教授) 王子 英(1995年度JCI会頭)
12	1999	広島	なし	58	74	132	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭)
13	2000	山形	なし	42	71	113	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭) 王子 英(1995年度JCI会頭)
14	2001	高松 大阪	なし	49	57	106	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭) 上島 一泰(2001年度JCI法制顧問) 立川 敬二(NTTドコモ代表取締役社長) 小和田 恒(元国連大使)
15	2002	藤沢 鎌倉 横浜	なし	52	68	120	アルベール・イリバロンド(1992年度JCI会頭) 土屋 龍一郎(2001年度日本JC会頭)
16	2003	長野	なし	43	53	96	アルベール・イリバロンド(1992年度JCI会頭)
17	2004	名古屋	千里同風	47	61	108	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭)
18	2005	神戸	誰がため	44	66	110	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭) 松山 政司(1999年度日本JC会頭) 上島 一泰(2000年度日本JC会頭、地球市民財団理事) 田沢 茂之(セーブザチルドレンジャパン) 倉石 和明(2005年度日本JCグローバルモラルティ推進会議議長) 榎本 正美(2005年度日本JC循環型社会創造委員会副委員長)
19	2006	松江	自他共存	42	65	107	レジナルド・スコーマンス(1991年度JCI会頭)
20	2007	盛岡	武士道	51	67	118	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
21	2008	立川	共生	58	65	123	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
22	2009	鹿児島	誇り ～PRIDE～	56	61	117	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
23	2010	つくば	光明たれ!	71	70	141	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
24	2011	富山	進取～Shin-shu～	72	57	129	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
25	2012	札幌	「Activating the Principle」 ～プリンシプルを持って行動しよう～	72	65	137	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
26	2013	福山	つながり ～TSUNAGARI～	99	65	164	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
27	2014	半田	共鳴 ～KYOMEI～	79	70	149	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
28	2015	東京	先駆け ～VANGUARD～	91	76	167	ラース・ハシュランド(2006年度JCI会頭)
29	2016	水戸	共感 ～Compassion～	90	76	166	ラース・ハシュランド(2007年度JCI会頭)
30	2017	熊本	世界を変えるのは俺たちだ! ～Who changes the world? It's US!～	93	79	172	ラース・ハシュランド(2007年度JCI会頭) ラファエル・ボイディ・ディゾン、パスカル・ディケ(2016年会頭)

■国際アカデミーPR・報告スケジュール

日程			場所	予定
2016年	11月	上旬	Quebec世界会議	PR
2017年	1月	14日	JBMセントルイス	PR
	1月	26日	近畿地区協議会	PR
	1月	29日	ニアメ	PR
	2月	3日～6日	デンマーク	講師打ち合わせ
	2月	9日～11日	ダブリン	PR
	2月	17日	金沢会議	リュニオン
	2月	21日	九州地区協議会	PR
	2月	24日	中国地区協議会	PR
	2月	24日	リマ	PR
	2月	26日	北海道地区協議会	PR
	2月	26日	東海地区協議会	PR
	3月	3日	北陸信越地区協議会	PR
	3月	5日	四国地区協議会	PR
	3月	12日	マニラ	セネターゴルフ
	3月	17日	東北地区協議会	PR
	3月	17日	関東地区協議会	PR
	3月	20日	プレアカデミー	PR
	4月	29日	沖縄地区協議会	PR
	6月	10日	ウランバートルASPAC	PR
	7月	5日～14日	国際アカデミー期間	本番
	7月	28日	MYE	報告
	11月	9日	アムステルダム世界会議	報告

■国内PR

公益社団法人日本青年会議所 2017年度 民間外交グループ 国際アカデミー委員会 国内PR

日程				予定		合計	熊本JC	総合計
2017年	1月	26日	(木)	①近畿地区協議会	天理	13	15	28
				奈良プラザホテル	奈良県天理市嘉幡町600-1			
	2月	21日	(火)	②九州地区協議会	佐賀	9	15	24
				佐賀青年会議所	佐賀県佐賀市神野西4丁目3-18			
	2月	24日	(金)	③中国地区協議会	総社	6	3	9
				サントピア岡山総社 豪溪	岡山県総社市泰1215番地			
	2月	26日	(日)	④北海道地区協議会	石狩	6	3	9
				花川北コミュニティーセンター	石狩市花川北3条2丁目198-1			
	2月	26日	(日)	⑤東海地区協議会	松坂	9	3	12
				フレックスホテル 2F会議室	三重県松坂市中央町36-18			
	3月	3日	(金)	⑥北陸信越地区協議会	富山	8	1	9
				富山電気ビルディング	富山市桜橋通り3番1号			
	3月	5日	(日)	⑦四国地区協議会	吉野川	12	6	18
				セントラルホテル鴨島	徳島県吉野川市鴨町471-2			
	3月	17日	(金)	⑨東北地区協議会	水沢	11	1	12
				水沢グランドホテル	岩手県奥州市水沢区東町40			
	3月	17日	(金)	⑩関東地区協議会	千葉県内	12	8	20
				千葉県電気工業組合	千葉県千葉市中央区道場南1-9-15			
	4月	29日	(土)	⑧沖縄地区協議会	那覇	14	6	20
				沖縄青年会議所	沖縄県那覇市高良3丁目9-5			
合計				合計	合計	100	61	161

各国内PRは各5名～10名ほどが望ましい。熊本開催では、国際アカデミー実行委員会副実行委員長に担当箇所の役割を与え、動員を募っていました。しかし遠方になると動員に苦労しています。姫路開催においても、同様のことが考えられるため、PR動員する場合は正副の担当を置き2段構えで動員を募ることが良いと考えます。

■海外ミッション

海外ミッション

海外ミッション

					国 ア カ	理 事 長	実 行 委 員 長	熊 本 J C	総 合 計
日程		場所	予定						
2016年	11月	上旬	Quebec世界会議	<u>PR</u>	5	1	1	5	12
2017年	1月	14日	JBMセントルイス	<u>PR</u>	7	1	1	1	10
	1月	29日	ニアメ	<u>PR</u>	0	0	0	0	0
	2月	3日～6日	デンマーク	<u>講師打ち合わせ</u>	9	0	1	0	10
	2月	9日～11日	ダブリン	<u>PR</u>	12	1	1	0	14
	2月	24日	リマ	<u>PR</u>	2	0	1	1	4
	3月	12日	マニラ	<u>セネターゴルフ</u>	10	0	0	1	11
	6月	10日	ウランバートルASPAC	<u>PR</u>					
合計					45	3	5	8	

海外PRにおいて、世界大会やASPACなどでは、PRのため多くの人が必要になります。開催前の世界大会ではPRが行われ開催後の世界大会では、報告が行われております。

■国際アカデミースケジュール

スケジュール詳細(2017年度熊本開催参照)

デリゲイツ限定

◎国内・海外共通

日付	時刻	所要時刻	参加者	会場案	担当
DAY1	終日		IN確認(海外デリゲイツ受入れ)		日本
	15:00 ~		ホテル チェックIN		日本
DAY 2	~ 8:15		朝食		
	8:15 ~ 9:30	1:15	移動		
	9:30 ~ 11:00	1:30	海外参加者説明会		日本
	11:00 ~ 12:00	1:00	渡航費補助受渡し+昼食 ※弁当予定	じばさんビル	日本
	12:00 ~ 15:30	3:30	エクスカーショ ※渡航費補助、昼食済みから順次エ クスカーション送りだし	書写山	姫路
	15:30 ~ 16:00	0:30	バス移動 ホテル戻り		姫路
	16:00 ~ 18:00	2:00	休憩+渡航費補助		姫路
	18:00 ~ 19:00	1:00	移動		姫路
	19:00 ~ 21:00	2:00	理事長招待レセプション	キヤッスルホテル	姫路
	21:00 ~ 21:30	0:30	移動		姫路
	21:30 ~ 23:30	2:00	海外デリゲイツ懇親会	姫路市内	姫路
	23:30 ~ 0:00	0:30	移動		姫路
DAY 3	0:00 ~		ホテル戻り 宿泊		
	~ 9:00		起床 ~ 朝食 ~ チェックOUT		
	9:00 ~ 10:00	1:00	移動 ~ 学校へ		
	10:00 ~ 12:00	2:00	開催地プログラム-① ※学校訪問プログラム(前半)		
	12:00 ~ 13:00	1:00	昼食 ※生徒と合同昼食	姫路市内小学校	姫路
	13:00 ~ 14:30	1:30	開催地プログラム-① ※学校訪問プログラム(後半)		
	14:30 ~ 15:00	0:30	移動 ~ 受付場所へ		
	15:00 ~ 16:00	1:00	ホストファミリー受付		
	16:00 ~ 17:30	1:30	ホームステイマッチング ※随時送りだし	姫路市内	
	17:30 ~ 終日	終日	海外参加者ホームステイへ~	姫路市内	
DAY 4	終日		終日ホームステイ	姫路市内	姫路
	~ 13:00		IN確認(国内デリゲイツ集合)		日本
	13:00 ~ 13:30	0:30	国内参加者受付		
	13:30 ~ 17:00	3:30	国内参加者説明会 事前セミナー	じばさんビル	
	17:00 ~ 17:30	0:30	ホテル移動		
	17:30 ~ 18:30	1:00	ホテル チェックIN ~休憩		
	18:30 ~ 19:00	0:30	移動 ~ 懇親会場		日本
	19:00 ~ 21:00	2:00	国内参加者懇親会	姫路市内	
	21:00 ~ 21:30	0:30	移動 ~ 二次会へ		
	21:30 ~ 23:30	2:00	二次会 ※自由参加		
	23:30 ~ 0:00	0:30	移動 ~ ホテル戻り		
	0:00 ~		宿泊		

DAY 5		～	10:30		～ホームステイ戻り	姫路市市民会館	姫路
		～	9:30		起床～朝食～チェックOUT		姫路
	9:30	～	10:30	1:00	バス移動 ～ 加藤神社へ		姫路
	10:30	～	12:00	1:30	成功祈願祭	総社	日本
	12:00	～	12:30	0:30	移動		姫路
	12:30	～	13:30	1:00	昼食		日本
	13:30	～	14:00	0:30	開講式受付	イーグレひめじ	日本
	14:00	～	15:00	1:00	開講式	イーグレひめじ	日本
	15:00	～	15:15	0:15	場面転換		日本
	15:15	～	17:45	2:30	モジュール1	イーグレひめじ	日本
	17:45	～	18:00	0:15	ウェルカムパーティ受付	ホテル日航	姫路
	18:00	～	20:00	2:00	ウェルカムパーティ	ホテル日航	姫路
	20:00	～			移動		姫路
		～	22:00	2:00	チェックIN	ニューサンピアゆめさき	日本
	22:00	～	23:30	1:30	フェローシップサロンー①	ニューサンピアゆめさき	日本
	23:30	～			宿泊	ニューサンピアゆめさき	日本
DAY 6	7:00	～	8:30	1:30	朝食		日本
	8:30	～	9:00	0:30	モーニングセッションー①	ニューサンピアゆめさき	日本
	9:00	～	12:00	3:00	モジュールー②	ニューサンピアゆめさき	日本
	12:00	～	13:00	1:00	昼食		日本
	13:00	～			モジュールー③	ニューサンピアゆめさき	日本
		～	17:00	4:00	モジュールー④	ニューサンピアゆめさき	日本
	17:00	～	18:00	1:00	移動		姫路
	18:00	～	20:15	2:15	食文化体験プログラム	イーグレひめじ	
	20:15	～	21:00	0:45	移動		
	21:00	～	22:00	1:00	ホテル戻り 休憩		日本
	22:00	～	23:30	1:30	フェローシップサロンー②	ニューサンピアゆめさき	日本
	23:30	～			宿泊		日本
DAY 7	7:00	～	8:00	1:00	朝食	ニューサンピアゆめさき	日本
	8:00	～	8:45	0:45	モーニングセッションー②		日本
	8:45	～	9:00	0:15	着替え		日本
	9:00	～	12:15	3:15	モジュールー⑤		日本
	12:15	～	13:15	1:00	昼飯		日本
	13:15	～	14:15	1:00	アレイによる講義		日本
	14:15	～	14:30	0:15	休憩		日本
	14:30	～	16:00	1:30	特別モジュール(モンテ氏)		日本
	16:00	～	16:15	0:15	休憩		日本
	16:15	～	18:45	2:30	モジュールー⑥ ※次年度会頭プレゼン		日本
	18:45	～	19:45	1:00	夕食		日本
	19:45	～	終了まで	終了まで	宿題		日本
					宿泊		日本
DAY 8	8:00	～	9:00	1:00	朝食		日本
	9:00				モジュールー⑦	ニューサンピアゆめさき	日本
		～	13:00	4:00	モジュールー⑧	ニューサンピアゆめさき	日本
	13:00	～	14:00	1:00	昼飯		
	14:00	～	19:00	5:00	開催地プログラムー② ※移動時間含む	姫路城⇒好古園	姫路
	19:00	～	20:30	1:30	夕食		日本
	20:30	～	22:30	2:00	フェローシップサロンー③	ニューサンピアゆめさき	日本
	22:30	～			宿泊		日本

DAY 9		～	7:30		チェックアウト・荷造り		日本
	7:30	～	8:30	1:00	朝食		日本
	8:45	～	10:15	1:30	JCI会頭セミナー(仮)	ニューサンピアゆめさき	日本
	10:15	～	11:45	1:30	モジュール⑨	ニューサンピアゆめさき	日本
	11:45	～	12:45	1:00	昼食		日本
	12:45	～	13:30	0:45	移動		日本
	13:30	～	15:30	2:00	着替え・卒業式準備		日本
	15:30	～	18:00	2:30	卒業式	姫路市市民会館	日本
	18:00	～	19:00		移動		姫路
	19:00	～			ホテルチェック IN (代行・荷物部屋 入れ)		姫路
19:00	～	21:00	2:00	フェアウェルパーティ (ホストファミリー)	キャッスルホテルグランヴィリオ		
21:00	～	22:00	1:00	フェアウェルパーティ (運営方参加)			
22:00	～	0:00	2:00	アフターパーティへ	姫路市内		
0:00				宿泊			
DAY 10					OUT確認(海外・国内デリゲイツ送 出し)		

■開催地の担当事業

○エクスカーション

（海外参加者に日本の精神性を知っていただく）

○理事長招待レセプション

（海外参加者を歓迎するパーティー）

○青少年プログラム

（学校訪問プログラム）

○ホームステイプログラム

（2泊3日程度の海外デリゲイツホームステイ）

○ウェルカムパーティー

（開催地の魅力を伝えると共に相互理解の場とし、国際アカデミーへの機運を高めるパーティーの企画・運営）

○食文化体験プログラム

（食や文化を体験していただき、開催地への理解を深めていただく）

○開催地プログラム

（日本、地域の文化を伝えデリゲイツと地域とで日本、地域の文化を伝え、開催地ならではの魅力や提案を発信する機会）

○フェアウェルパーティー

（卒業を迎えたデリゲイツとホストファミリーを招いての相互理解、共感の場とし、また青年会議所運動を理解していただくこと、地域のリーダーであるJAYCEEとしての使命を再認識していただくパーティーの企画・運営）

■その他の担当職務

○通訳ボランティアの募集・運営

○本部団の運営 荷物の輸送

○法被・横断幕作成

○国際アカデミーの広報

○国内・海外PR

○開催報告書

■開催地プログラム

○エクスカーショ

開催地の観光資源を感じていただくこと、また日本の精神性に触れていただく事業。



過去の開催地では、ホームステイ中に組み込むこともあった。観光プランとして計画することもあった。

○理事長招待レセプション

海外参加者、日本JCメンバーに開催地の魅力と日本の文化を感じていただくパーティー。



例会と併せて開催することもある。理事長招待レセプション後、海外デリゲイツ懇親会を開催する。

○青少年プログラム

小学生に国際の機会を与え、世界を身近に感じていただきます。日本の精神性や日本の小学校のシステムなどを海外参加者に知っていただく事業。開催までに1回から2回ほどの事前事業を行っています。自分の国を伝えること、海外の国を知ることによって小学生と海外参加者の相互理解を目的にしています。



過去は1校から5校と連携しています。

○ホームステイプログラム

市民に国際の機会を与える事業。熊本開催では77家族のホームステイを実施。
ホームステイを実施することで、自分のまちを好きになっていただくことができます。



過去は2泊3日か3泊4日があります。ホストファミリーの受け入れを考えると金土日の2泊3日が良いと感じます。

○ウェルカムパーティー

開催地の魅力を伝えると共に相互理解の場とし、国際アカデミーへの機運を高めるパーティー。
市長や行政の要人を呼び、町全体で歓迎します。参加者には、開催地のファンになっていただき、日本の精神性に触れ、相互理解を深めていただきます。



太鼓や剣舞、書道など日本を感じるエンターテインメントがあります。300人から500人規模のパーティーです。姫路開催においては、まつり文化や食文化などを感じていただける設えが良いと感じます。また食や文化を伝えるという点において近隣の青年会議所と連携が最もしやすいと思います。

○食文化プログラム

開催地の食文化を伝える事業。参加者にとって外に出られる貴重な機会です。



バーベキューや横丁居酒屋など設えは様々です。姫路開催においては、HIMEJI DREAM FESTAで培った食ブースの経験を活かせば良いと考えます。

○開催地プログラム

その地域ならではの資源を活かして、国内、海外の参加者と開催地の方がふれあい、お互いの文化、相互理解を育む事業。



開催地と参加者が共通して直面する課題に対して、解決方法を事業化し提案する機会となっています。長く時間が取れるので、地域の観光資源を活かしながら開催するのがポイントです。

○フェアウェルパーティー

国際アカデミーに関わった関係者がお互いに感謝を伝えあいます、参加者同士、通訳ボランティア、ホストファミリーの方々の絆を感動体験によって強固にします。また青年会議所運動を理解していただくこと、地域のリーダーであるJAYCEEとしての使命を再認識していただくパーティー。



■助成金一覧リスト

資料No	団体名	助成事業名	助成額	申請期限	実施期間	備考
1	兵庫県中播磨県民センター	中播磨地域づくり活動 応援事業	5万円以上50万円以 内	H.30 4/3 ～5/8	H30. 4～ H31. 3	
	〒670-0947 兵庫県姫路市北条1-98 TEL:079-281-3001					
2	公益社団法人姫路観 光コンベンションビュー ロー	公益社団法人姫路観 光コンベンションビュー ローコンベンション補助 金事業	参加者×2,000円 最高限度額100万円	事業開始 日1ヶ月前	H30. 4～ H31. 3	
	〒670-0012 兵庫県姫路市本町68 TEL:079-222-2310					
3	公益財団法人兵庫県 国際交流協会	民間国際交流事業助 成制度	助成対象経費の1/2 以内最高10万円まで	当年1月末	H30. 4～ H31. 3	
	〒651-0073 兵庫県神戸市中央区 脇浜海岸通1-5-1 国際開発センター2F TEL:078-230-3260 FAX:078-320-3280					
4	公益社団法人姫路文 化国際交流財団	国際交流財団文化活 動助成事業	資料参照	H.30 2/2 ～2/10	H30. 4～ H31. 3	
	〒670-8544 兵庫県姫路市 西延末426-1(姫路文化センター内) TEL:079-298-8013 FAX:079-293-7300					
5	一般財団法人地域活 性化センター	健やかコミュニティモデ ル地区育成事業	資料参照	前年12月 中旬	H30. 4～ H31. 3	
	〒103-0027 東京都中央区 日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13F TEL:03-5202-6131 FAX:03-5202-0755					
6	公益財団法人兵庫県 青少年本部	ふるさとづくり青年隊事 業	一事業あたり最大10 0万円	H.30 2/1 7～3/17	決定日～ H31. 3	
	〒650-0011 兵庫県神戸市 中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8F TEL:078-891-7410 FAX:078-891-7418					
7	兵庫県企画県民部知 事室芸術文化課事業 調整班	ひょうごのふるさと芸術 文化活動推進事業	補助対象経費が10 万円以上15万円 未満は10万円 補助対象経費が15 万円以上は15万円	当年6/2	H30. 4～ H31. 3	
	〒650-8567 兵庫県神戸市 中央区下山手通5-10-1 TEL:078-362-3171 FAX:078-					
8	公益財団法人関西・大 阪21世紀協会	日本万国博覧会記念 基金事業	1事業上限 300万円	H29. 9末	H30. 4～ H31. 3	
	〒530-6691 大阪府大阪市北区 中之島 6-2-27 中之島センタービル 29F TEL:06-7507-2003					
9	公益財団法人中内カコ ンベンション振興財団	兵庫県内で行われる国 際会議等への助成事 業	総事業費の15%以 内(実績平均は5%以 内)	H29. 11 月末	H30. 4～ H31. 3	
	〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6丁目10番地の1 ポートピアホテル内 TEL:078-303-8111 FAX:078-303-4800					

10	兵庫県企画県民部地域創生局地域交流室 内地ひょうごふるさとづくり交流会議	地域づくり団体等活動支援事業	講師等に対する謝金・旅費を各10万円計15万円を限度に助成	前年11月末	H30. 4～ H31. 2	地域づくり団体全国協議会会員の み
	〒650-8567兵庫県神戸市 中央区下山手通5-10-1 TEL: 078-362-4314 FAX: 078-362-3950					
11	一般財団法人地域活性化センター	地域イベント助成事業	1団体上限100万円	前年11月末	H30. 4～ H31. 3	主に市町村関係
	〒103-0027 東京都中央区 日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13F TEL: 03-5202-6138 FAX: 03-5202-0755					
12	一般財団法人自治総合センター	活力ある地域づくり支援事業	1団体上限100万円	前年11月末	H30. 4～ H31. 3	主に市町村関係
	〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1丁目3番2号 内幸町東急ビル13階 TEL: 03-3504-0841 FAX: 03-3504-0872					
13	一般財団法人地域活性化センター	地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業	1事業上限 150万円	当年2月中旬	H30. 4～ H31. 3	主に自治会等
	〒103-0027 東京都中央区 日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13F TEL: 03-5202-6138 FAX: 03-5202-0755					

■宿泊地・ホール調査

一覧

番号	施設名	住所	TEL
1	姫路ホテルキャッスル グランヴィリオホテル	姫路市三左衛門西の町210	079-284-3311
2	ニューサンピア 姫路 ゆめさき	姫路市夢前町置本432-56	079-335-5552
3	ホテルサンシャイン 青山	姫路市青山南4-7-29	079-276-1181
4	ホテル日航姫路	姫路市南駅前町100番	079-222-2231
5	イーグレひめじ	姫路市本町68番290	079-289-3443
6	パルナソスホール	姫路市辻井9-1-10	079-297-1141
7	姫路モリス	姫路市総社本町115	079-286-5858
8	姫路市市民会館	姫路市総社本町112番地	079-284-2800

各施設詳細

1 姫路ホテルキャッスル グランヴィリオホテル			
宿泊の種類	部屋数	価格	
シングル	191部屋	8,500円	
ツイン	65部屋	16,000円~18,000円	
ロイヤルルーム	3部屋	50,000円	
スイートルーム	1部屋	100,000円	
スーペリアツイン	1部屋	26,000円	
ホールの種類	広さ	人数	価格
大宴会場 鳳凰	672㎡	550名	1,111,968円
中宴会場 さざ草	201㎡	120名	384,912円
松竹	168㎡	100名	313,632円
桜桃	85㎡	48名	213,840円
小宴会場 桔梗	68㎡	42名	71,280円
菊	45㎡	18名	〃
蘭	30㎡	15名	〃
華	55㎡	30名	〃

2 ニューサンピア 姫路 ゆめさき					
宿泊の種類	部屋数	価格(※上段が平日。下段が土日祝日。)			
		1人利用	2人利用	3人利用	4人利用
シングル	10部屋	6,480円	-	-	-
		7,480円	-	-	-
ツイン(障害者用含む)	15部屋	8,640円	6,480円	-	-
		9,640円	7,480円	-	-
和室	28部屋	-	9,180円	7,560円	6,480円
		-	10,180円	8,560円	7,480円
和洋室	2部屋	-	16,200円	11,880円	9,720円
		-	17,200円	12,880円	10,720円
セミナー会場候補	広さ	人数	価格		
大会議室	310㎡	200名	173,500円		
中会議室	162㎡	100名	92,000円		
大宴会場	120㎡	150名	92,000円		

3 ホテルサンシャイン 青山			
宿泊の種類	部屋数	価格	
シングル	47部屋	4,800円	
ダブル	4部屋	6,500円	
ツイン	14部屋	7,800円	
デラックスツイン	4部屋	12,000円	
和室	1部屋	20,000円	
セミナー会場候補	広さ	人数	価格
大宴会場	829㎡	500名	831,600円
中宴会場	185㎡	120名	197,500円
小宴会場	62㎡	36名	72,765円

4	ホテル日航姫路			
	宿泊の種類	部屋数	価格	
	シングルA	162部屋	13,000円	
	シングルB	14部屋	13,500円	
	セミダブル	42部屋	15,500円	
	スタンダードツイン	42部屋	20,000円	
	デラックスツイン	10部屋	26,500円	
	ダブル	24部屋	20,000円	
	ハリウッドツイン	4部屋	26,500円	
	和室	2部屋	35,000円	
	スイートルーム	1部屋	120,000円	
	セミナー会場候補	広さ	人数	価格
	大宴会場 光琳	672㎡	420名	800,000円
	中宴会場 真珠	229㎡	105名	260,000円
	小宴会場 藤	108㎡	60名	120,000円

5	イーグレひめじ			
	セミナー会場候補	広さ	人数	価格
	あいめっせホール	474㎡	280名	38,100円
	第一会議室	101㎡	24名	9,700円
	第二会議室	61㎡	20名	6,000円
	第三会議室	69㎡	14名	6,600円
	第四会議室	30㎡	8名	2,700円
	第五会議室	27㎡	8名	2,700円
	第六会議室	29㎡	8名	2,700円
	セミナー室 A	123㎡	56名	12,000円
	セミナー室 B	69㎡	28名	6,600円
	セミナー室 C	48㎡	20名	4,700円
	セミナー室 D	52㎡	20名	5,000円
	和室 1	55㎡	24名	7,300円
	和室 2	49㎡	24名	7,300円

6	パルナソスホール			
	セミナー会場候補	広さ	人数	価格
	メインホール	4,861㎡	804名	平日 88,000円 土日 110,000円
	第一練習室	94㎡	-	8,000円
	第二練習室	89㎡	-	10,000円

7	姫路モノリス			
	セミナー会場候補	広さ	人数	価格
	ラウンジ	180㎡	立食40名	300,000円
	クリスタルホール	99.79㎡	正食48名	200,000円
			立食60名	
	ダイニング	223.5㎡	正食120名 立食200名	500,000円

8	姫路市市民会館			
	セミナー会場候補	広さ	人数	価格
	大ホール	1,870㎡	800名	44,800円
	中ホール	227.5㎡	200名	16,800円
	特別会議室	68.1㎡	8名	12,000円
	第1会議室	89.1㎡	60名	7,400円
	第2会議室(中ホール)	227.5㎡	200名	16,800円
	第2会議室(中ホール控室)	26.9㎡	12名	2,000円
	第3会議室(教室型)	88.0㎡	60名	7,500円
	第4会議室	75.4㎡	50名	6,200円
	第5会議室	79.4㎡	50名	6,600円
	第6会議室	161.0㎡	100名	13,200円
	第7会議室(第1和室)	75.5㎡	40名	6,300円
	第8会議室(第2和室)	52.6㎡	25名	4,300円
	第9会議室	29.0㎡	15名	4,800円
	第10会議室	88.0㎡	30名	9,000円
	第11会議室	101.7㎡	34名	10,400円

ホテル調査において、ホテル日航、キャッスルホテルにおいては予算上の問題があります。施設面では問題はありませんが、街中ということもありデリゲイツ(参加者)が逃げ出す可能性があります。夜警などの管理面で問題を感じます。ホテルの中ではニューサンピアゆめさきが予算面、管理面というところで良いと思います。しかし、モジュール会場などの施設面では少し狭いと感じます。ホールに関してはロイヤルクラシックが工事中の為使用できません。費用面、立地条件では良いと思います。姫路の施設は、一長一短の部分があります。複数のホテルを使用するなどを考えても良いと思います。

■ 学校調査

学校名		
姫路獨協大学	外国語学部外国語学科	教授 奥田 寛
	〒670-0092 姫路市上大野7-2-1	TEL:079-223-2211 FAX:079-285-0352
兵庫県立大学	地域創造機構	教授 内平 隆之
	〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12	TEL:079-292-1515

上記2校の大学は、2017年度事業において協力的でありました。国際アカデミー開催の際にも協力をさせていただきたいと依頼したところ是非との返事をいただきました。姫路獨協大学においては、カリキュラムが決定する前に協力依頼をすれば、社会貢献プログラムとして単位がでる科目にしていただける可能性があります。

兵庫県立大学においては、地域との連携プログラムが実施される計画があり、連携が容易になる可能性が大きいです。国際アカデミー開催においてこの2校には協力依頼をさせていただきたい。

学校名		
兵庫県立姫路飾西高等学校	グローバル・コミュニケーション・コース	校長 長谷川 宜成
	〒671-2216 姫路市飾西148-2	TEL:079-266-5355 FAX:079-266-5354
兵庫県立網干高等学校	国際文化交流類型	校長 松井 英司
	〒671-1234 姫路市網干区新在家259	TEL:079-274-2012 FAX:079-274-2015
姫路市立琴丘高等学校	国際文化科	校長 高桑 由雅
	〒670-0052 姫路市今宿668	TEL:079-292-4925 FAX:079-292-4927

上記3校の高等学校は、英語教育に力を入れている高等学校です。国際アカデミー開催時のお願いをしたところ協力の確約はできないが生徒にアナウンスはしていただけます。現場に立って生の国際交流をすることは非常に良いことだと理解を示していただきました。しかし高校生なので日中が動けないという、時間的制約があります。国際アカデミー開催の際には通訳ボランティアやホームステイの協力が考えられます。

姫路市立白鷺小学校	小中一貫教育モデル小学校	教頭 松岡 準人
	〒670-0012 姫路市本町68-52	TEL:079-222-2851 FAX:079-285-2853

姫路市内唯一の小中一貫教育モデル校です。現在小学校の英語教育は先生達では教育勉強会などは実施しているそうですが、子どもたちに教えているという学校はほとんどありません。白鷺小学校では、中学校の外国人英語教師が週に1度教えに来るそうです。まだまだ英語教育実施モデル校と呼べる学校はありませんでした。しかし、旭陽小学校の大西校長とお話したところ興味はある校長は多いと思うとおっしゃっていました。校長会で周知し募集する事が良いと考えます。

■ ムスリム（イスラム教徒）について

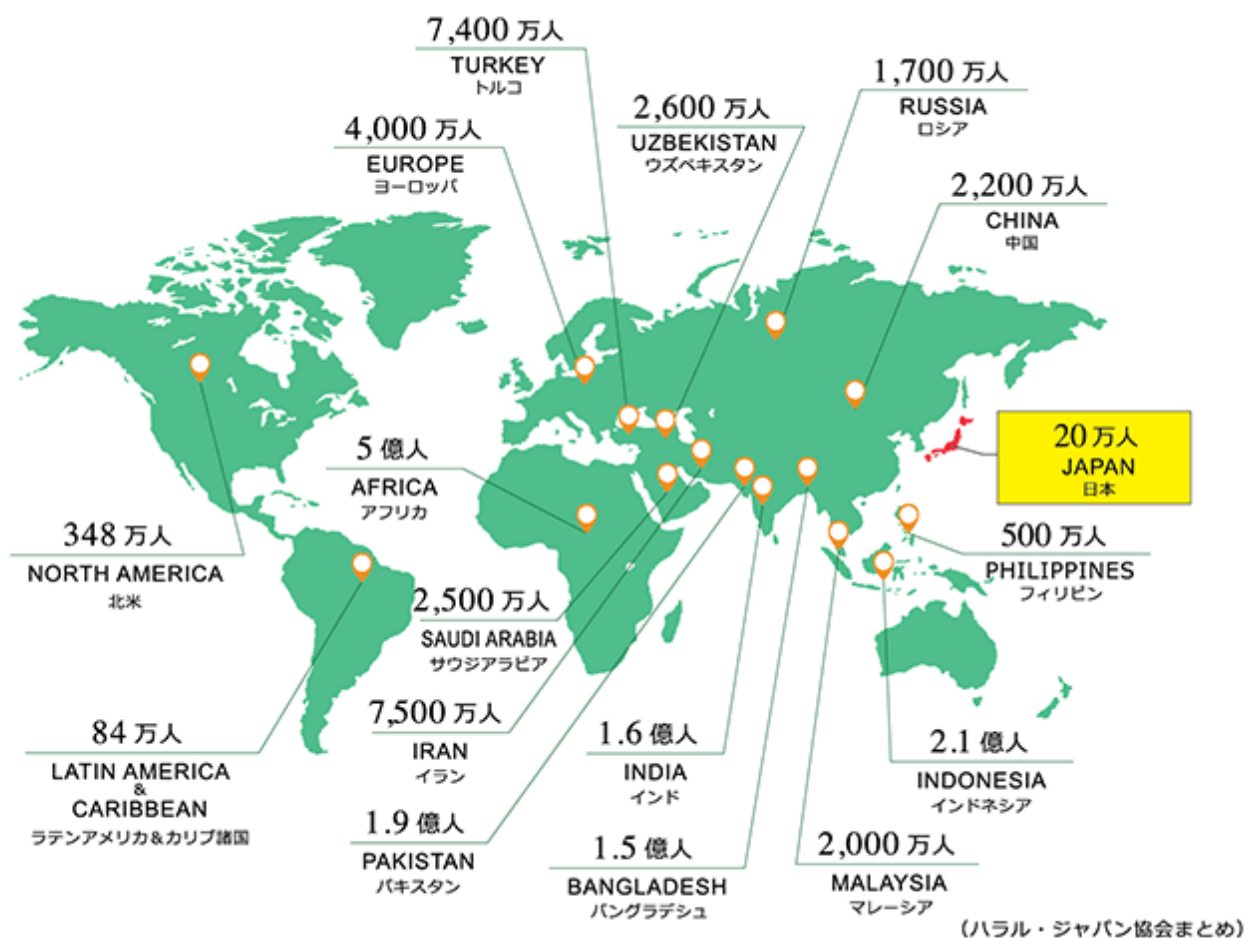
現在全世界に 16 億人以上のイスラム教徒(ムスリム)がいます。

中東に暮らすムスリムはほんの一部にとどまります。

世界最大のイスラム人口を持つ国がインドネシアで、人口 2 億 5 千万人のうち 9 割近くの 2 億 2 千万人がムスリムです。

世界のムスリムの半数以上はアジアに暮らしており、パキスタン、バングラデシュ、インドなどが多くの人口を抱えますが、ヨーロッパに4千万人以上、中国にも2千万人以上が暮らしているなど全世界に広がりをみせています。

世界のイスラム教徒



■ ハラルについて

イスラムの教えで「許されている」という意味のアラビア語がハラール(ハラル)【アラビア語: حلال Halāl】です。反対に「禁じられている」という意味の言葉が「ハラーム(ハラム)」です。ハラームをノンハラール(ノンハラル)と言う人もいます。

モノや行動が神に

「許されている」=ハラール(ハラル)

「禁じられている」=ハラーム(ハラム)

『豚』は、その派生物を含めて全てが禁じられています。

豚以外の肉についてもイスラムの教えに則った方法でと畜・加工処理されなかった肉についてハラムとみなされます。

※肉についてハラルを意識するムスリムの割合は非常に高いです。

『酒』については、イスラムの教えでは酒を飲み酔ってしまった時の害が指摘されています。

そのため、飲料用のアルコールは避ける人が多いですが、工業洗浄用アルコールや、手指の消毒用のアルコールを避けようとする人の割合は下がるようです。

発酵過程で自然にアルコールが醸造される食品(しょうゆや味噌など)に関しては一定の濃度を規制すべきという考えもある一方で、問題に感じない人も少なくありません。

■ 食におけるハラール(許されているもの)

野菜、果物、魚、卵、牛乳

イスラムの方式にしたがって”と畜”された動物の食肉、あるいはその派生物

■ 食におけるハラーム(禁じられているもの)

豚・犬

死んだ動物の肉、イスラムの方式にしたがってと畜されていない(アッラーの名を唱えてからと畜する等)

動物の食肉、あるいはその派生物

血液など

酒

その他、かぎづめのある動物など

※宗派、国および地域、個人によって詳細の解釈が異なります

	ハラール ◎	ハラーム ×
陸上動物	鶏、牛、羊など（ただし、自然の状態で育成され、イスラム法に沿った食肉処理がされているもの）	豚 人間に有害な物、不快感を与えるもの、病原菌等人体に害になるものなど 鶏、牛、羊であっても、イスラム法で不浄とされるものを含んだ餌で継続的に飼育されたもの
水生動物	天然の魚、エビなど（ただし、自然な状態で育成されたもの）	人間に有毒であるもの イスラム法で不浄とされるものを含んだ餌で継続的に養殖されたもの
植物	無農薬野菜、天然キノコ、コショウ、ピーナッツなど（ただし、自然の状態で栽培されたもの）	遺伝子組み換えをした植物 人間に有毒なもの 人間に不快感を与えるもの 無農薬野菜であっても、イスラム法で不浄とされる肥料を用いて栽培されたもの
飲み物	天然水、果汁100%のオレンジジュースなど（人体に有害でないもの）	アルコール入り飲料

参考：イスラム法で不浄とされるものの例

死肉、血液、遺伝子組み換えの物質、豚由来成分の物質

■その他、食におけるハラーム（禁じられているもの）

遺伝子組み換え食品や合成飼料など、自然の状態から離れた環境で作られたもの

豚由来の原料や食品添加物（ポークエキス、ポークエキスパウダー、ゼラチン（豚由来）など

ハラーム（禁じられたもの）と同じ油を使用した揚げ物なども注意が必要

左手で食事をすることを不浄としています

■姫路のゲストハウス聞き取り調査

姫路のゲストハウスには多くの外国人が来られています。色々な宗教の方も来られています。その方々の食べるものをどう説明されているのかをお聞きしました。

姫路では、ハラール認証のお店がありません。そこでゲストハウスの方がお勧めしているのが、ベジタリアンの方にお勧めするお店を紹介しているそうです。海外に行かれる外国人の方は、外国で高度のハラールを求めている人は少ないそうです。過去問題はないとおっしゃってっていました。

■姫路のハラル対応店・ベジタリアン対応

○African&French ビストロゼブラ

〒670-0921 兵庫県姫路市綿町 63 藤野ビル1F TEL:079-282-4040

チュニジア料理、北アフリカ料理、モダンアフリカ料理



ハラール(ハラル)料理もご用意出来ます。(お一人¥3000~10名様~)

○めんめ

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68 TEL:079-225-0118

和食 アジア料理 スープ ベジタリアン料理あり



ベジタリアン対応 トリップアドバイザー人気店

○中華食堂 KOB&MORE

〒670-0923 兵庫県姫路市呉服町59 TEL:079-225-1357

和食, アジア料理, スープ, ベジタリアン料理あり, ヴィーガン料理あり



ベジタリアン対応 トリップアドバイザー人気店

○BAOBAB

〒670-0924 兵庫県姫路市紺屋町78おみぞ筋商店街内 TEL:079-289-3922

インド料理, タイ料理, ベトナム料理, アジア料理, ベジタリアン料理あり

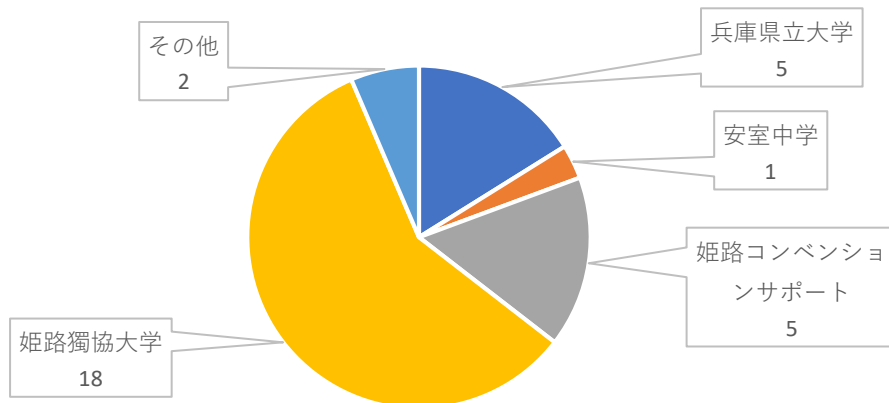


ベジタリアン対応 トリップアドバイザー人気店

彩れ！まちの魅力～感じよう！姫路のまつり～
参画者アンケート

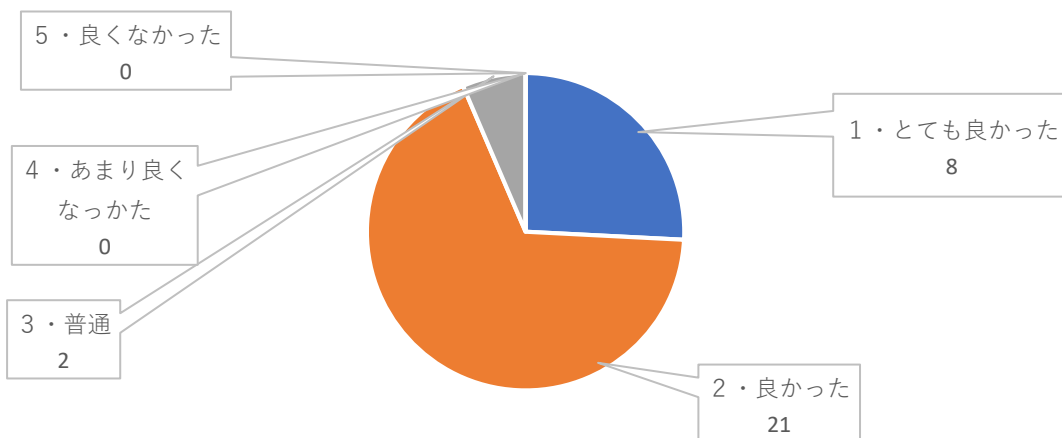
アンケート総数 31

Q1. 所属されている団体は？



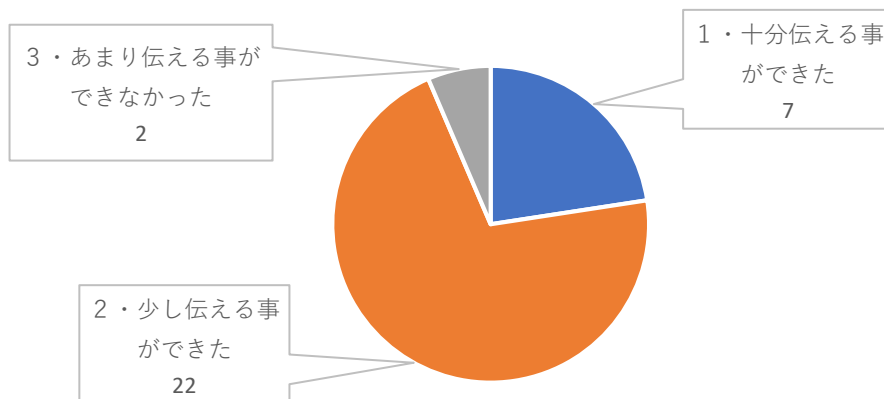
今回は、主に姫路獨協大学・兵庫県立大学の学生の協力が大半でありました。大学生は大学を通して募集することで多くの人数を動員できます。通訳ボランティア参画動員については、姫路市内及び近隣の大学・高校にも早期に幅広く呼びかけしておくことで、多くの学生の協力を得ることができると考えます。また、姫路コンベンションサポートの方々においては英会話力が高く、多大なる戦力となっていただきました。国際アカデミーでの通訳ボランティア募集の際は、もっと多くの方々の参画を呼びかけていきたいと考えます。

Q2. 彩れ！まちの魅力～感じよう！姫路のまつり～
～はいかがでしたか？



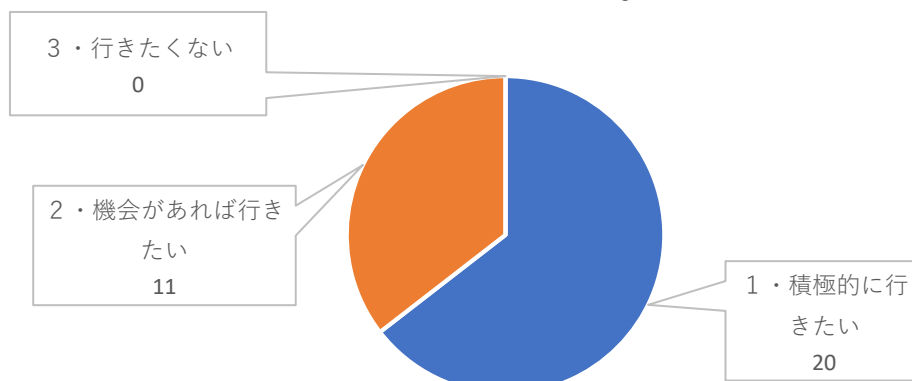
○姫路に在住しながらも、姫路のまつりを改めて見て体験していただくことで、まちの魅力を感じていただく機会となったと考えます。今後まつりにとどまらず、姫路の名産を参画者とともに感じる機会を増やしていくことができればと考えます。

Q3. 当事業に参画し、姫路のまちの魅力を伝える事ができましたか？



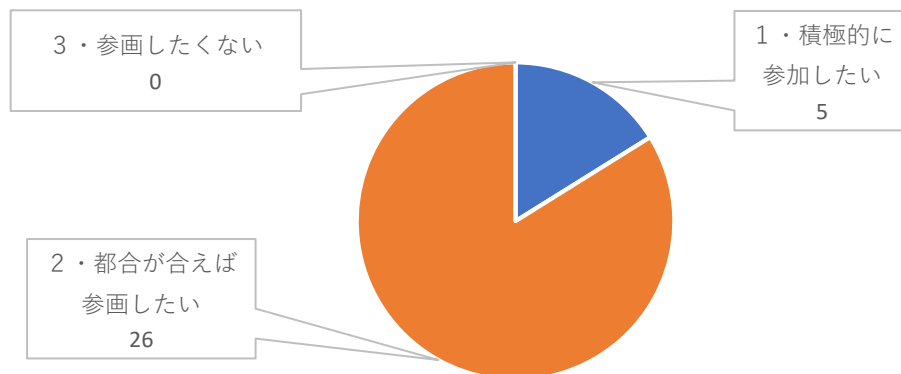
本事業において日本人の参加者には、言語の上で伝えやすく、伝わったという実感があったと思いますが、外国人の参加者には、言語で伝わりにくいところを身振り手振りで伝えるという難しさもあり少々伝わりにくかったと感じました。より詳細に伝えるために資料などの伝えるためのツールや工夫が必要であると考えます。しかし伝えるのが難しい状況でも、学生参画者は積極的に外国の方とコミュニケーションを図ろうとする姿が見えました。国際アカデミーにおける通訳ボランティアに学生に参画してもらうことで、海外デリゲイツとの積極的な交流が期待できると考えます。

Q4. 今後も姫路のまちの魅力を伝える事を行いたいですか。



本事業において参画者の2日間の行動からも積極的に参加者に関わっておられる姿を拝見することができました。このアンケート結果からも参画者はまちの魅力を伝えることが必要であると考え、それを行うことに前向きであることがうかがえます。国際アカデミーだけに留まらず、公益社団法人姫路青年会議所は今後もこれらの方々に機会を提供することが重要であると考えます。

Q5. 今後も公益社団法人姫路青年会議所が事業を行う際に参画していただけますか？



公益社団法人姫路青年会議所の事業に理解、賛同いただくことができ、姫路での国際アカデミー開催においての多くの参画者候補を得ることが出来たと考えます。しかし「都合が合えば参画したい」という意見が多いことから、早期の事前案内、説明会を設けることがより多くの参画を得るために必要であると考えます。「積極的に参画したい」との回答の方については、知人の方がにもお声掛けをしていただくことで、より多くのご協力を得ることができると考えます。

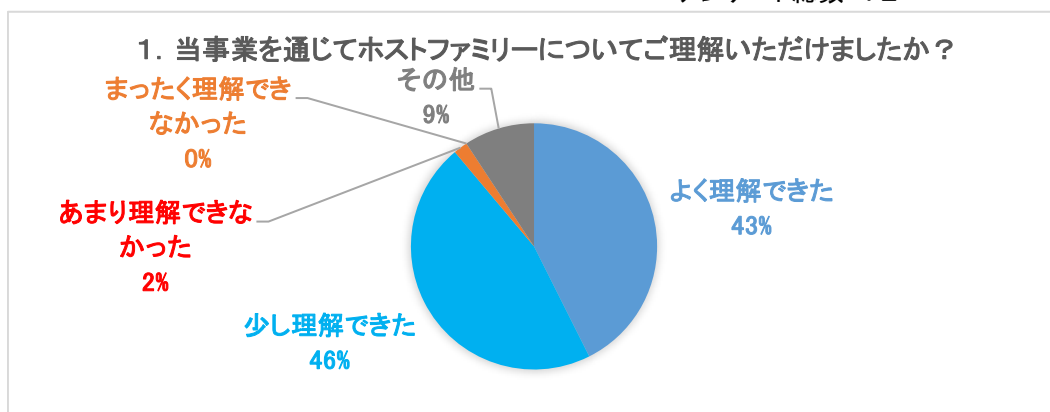
【その他参画者 感想ご意見・ご要望】

- 外国人観光客が太鼓打ち体験がしやすい様、子どもの太鼓と別に場所を設けてみてはどうか。
- テントの場所をお城の近くに設置した方が来られる方や案内する側にとっても案内しやすいです。
- 楽しかったので、また英語を活かせる機会があったら是非参加したいです。
- 普段体験できない経験ができ、うれしく思います。また機会があれば是非参加したいです。
- 楽しかったです。ボランティア用のユニフォーム(Tシャツなど)があったら良かったかもしれません。
- 英語を勉強していますが、使う機会がないので、本日のようなボランティアをきっかけに英語を活かせることができうれしかったです。太鼓もミニ紙手作りも体験できて楽しかったです。
- お城まつりにボランティアとして参加できて良かったです。次回までに英語力も高めていきたいです。

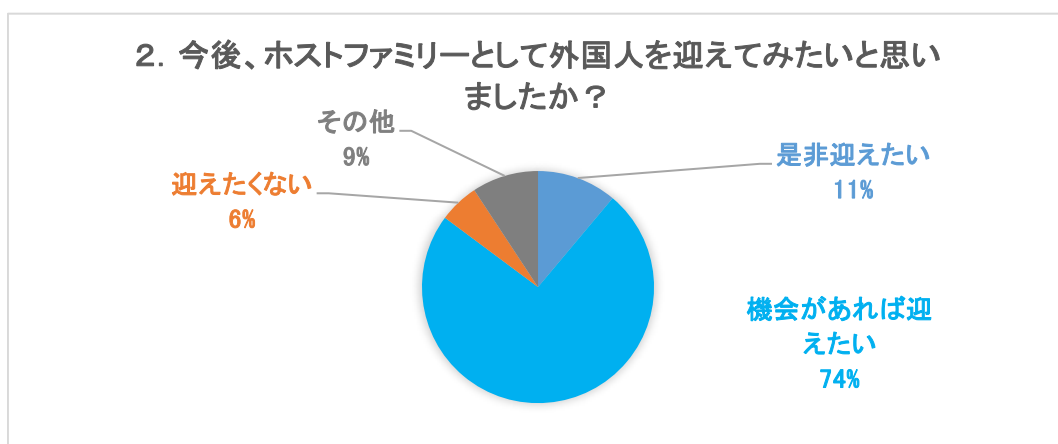
自らの持つ英語能力を活かす機会を得られたことを喜ぶ感想が複数寄せられていました。英語能力を身に付けられた方の実践の場として機会を提供できることを広く伝えることで、積極的に参画を希望する方を得ることに繋がると考えます。また国際アカデミー開催の際にはボランティア参画者についても共通のアイテムなどを身に付けてもらうことで共に事業を作り出していくという一体感が生まれることに繋がり、より積極的に参画しようという意識を高めることが期待できます。

セミナー受講者アンケート
チャレンジ！自宅でできる国際交流～ホストファミリーへの道～

アンケート総数 72



ホストファミリーがどういったことをするのか、それによって自分たちが何を得ることが出来るのか、何を与えることが出来るのかなど、ホストファミリーについての理解をしていただくことが出来たと考えます。参加者の多くが講演に対し興味深く聞かれている様子であったことから、ホストファミリーについての知識自体がそこまで多くの方に浸透していないと考えられます。ホストファミリーについて理解してもらふステップを挟むことで、潜在的なホストファミリーに取り組んでみたいと考える方々を取り込むことが可能になるのではないかと考えます。



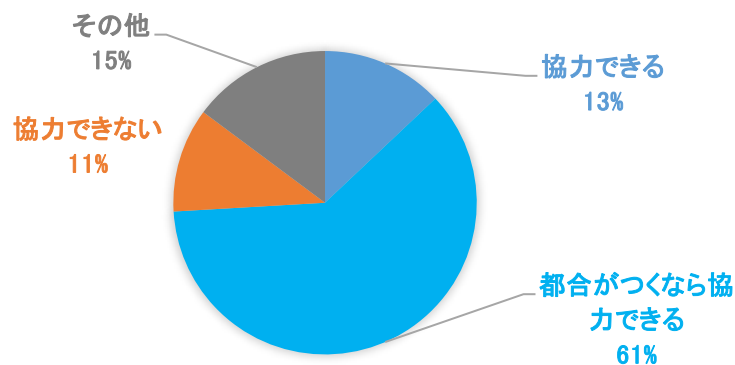
セミナーに参加しホストファミリーについての理解が進むことで、興味をもっていたことが出来たと考えます。これらの方々に機会を提供することでホストファミリーに取り組んでいただけるでしょう。参加者についてはホストファミリー未経験の方が多くいたことから、ホストファミリーについて理解を深めることで、ホストファミリーに取り組むことに前向きな意識が生まれると考えます。ホストファミリーの機会を提供する前にホストファミリーについての理解を深めていただく機会を設けることで、ホストファミリーに取り組もうと考える方が増えると考えます。

3. あなたが外国人に伝えたい姫路の魅力についてどのようなものがありますか？

姫路城	海と山の自然体験	歴史	宮大工
酒	城下町	古い町並み	塩田温泉
ひねポン	ゆかた祭り	新幹線	教育が充実
秋祭り	人のあたたかさ	ござそうろう	好古園
酒蔵ツアー	水族館、名古屋山	皮革工場	そうめん
普通の生活	普段の日本の日常		
大都会にはない田舎の魅力	書写山の季節の変わり目		
姫路での1年の行事	海水浴、スイカ割り、BBQ、船にのり家島		
新しいものと古いものとが入り混じった都市の体感			

セミナーの中で行われたグループワークの中でも活発な意見が出たことから参加者それぞれに姫路に来たならこれを感じてほしいというものに対して自らの考えを持つことが出来たと考えます。また講演の中でも語られたことから、日本の生活に関してあまり知識がない人に対して、姫路での思い出をいかに残してもらうかということを基に、様々な姫路での過ごし方について考える機会となり、姫路城や書写山などの観光の面にとらわれることなく、姫路での日常を感じてもらうアイデアが多く出てきました。今まで当たり前にしてきたことが来姫者にとって姫路を感じることに繋がるという気付きを得ることができ、今後姫路の魅力を伝える上でより多くのことを伝えられるようになったと考えます。

4. 姫路で国際アカデミーが開催される際に、ホストファミリーとして外国人の短期受け入れにご協力いただけますか？



本事業によってホストファミリーについてご理解いただき、国際アカデミー姫路開催においての多くの候補者を得ることが出来ました。講演の中でもあったが長期での受け入れではなく、短期での受け入れであることを強調し、ホストファミリーのファーストステップとして取り組んでいただくことを勧めることがよいと考えます。また協力できないと答えた方で子どもが幼いことや共働きで一緒にいることが出来ないことを理由として挙げる方がありました。そういった問題に対するフォローや影響が出にくいやり方を提案することでホストファミリーを受け入れることのできる方が増えると考えます。

■開催地参加報告書

■はじめに

2017年7月6日～2017年7月13日までの間に熊本にて開催されました。第30回国際アカデミーに6日～14日の間参加し、公益社団法人日本青年会議所国際アカデミー委員会の動きや一般社団法人熊本青年会議所の動きなどを見て参りました。会期中、どのような動きをするのか、どのようなことが問題点として起きたのかを報告いたします。

■第30階国際アカデミーIN熊本参加人数

国内参加者 93名

海外参加者 79名(79か国)

■第30回国際アカデミーIN熊本スケジュール

○2017年7月5日(水)

①海外デリゲイツ受け入れ 場所:成田空港、羽田空港、福岡空港、熊本空港、熊本駅

主に日本青年会議所第4小委員会が担当します。

開催地は、受け入れなど空港へお迎えなどのお手伝いです。

海外デリゲイツは遅れる方もいらっしゃるので7月5日のすべてのデリゲイツが揃うとは限りません。

○2017年7月6日(木)

①海外参加者説明会(日本JC)

②エクスカーション(熊本JC)

熊本観光 通訳ボランティアガイドと共に熊本城を見学します。

歴史や地震後の現状など熊本の過去、未来について説明します。

※しかし、記録的大雨のため、熊本城観光は中止しました。

その後、英語俳句をしました。

1時間の講座の方ではつまらないような感じを受けたが

アクティビティーや発表になるとノリノリで参加していました。

筆を使うことや和紙に書くなどはとても楽しそうにしていました。

③理事長招待レセプション(熊本JC)

三味線、少女舞踏団「ざわらべ」の演舞などを実演。

参加は、メンバー(正副、理事メンバー&海外デリゲイツ、オブザーブは日本のスタッフのみ)

○招待無し

④海外デリゲイツ懇親会(熊本JC)

熊本JCのメンバーと海外デリゲイツの交流です。会費制でした。

5つのグループに分けた設えでした。それぞれ会費制でした。
コスプレやカラオケを楽しんだところもあり、
熊本の名産であるスイカのスイカ割をやったところもありました。

○2017年7月7日(金)

①開催地プログラム1※学校訪問プログラム(熊本JC)

月出小学校、尾ノ上小学校、山之内小学校の3校。

この3校は、英語教育モデルの3校。月出小学校の校長先生とお話で、英語の教育はしているが実践の場を提供することはなかなか学校ではできないとおっしゃっていました。今回の様に多くの国の方と話す機会を提供できることは非常にありがたいとのこと。子供たちも喜んで参加していました。とても貴重な機会だったと話しておられました。

②ホームステイマッチング(熊本JC)

熊本開催では、ほぼ全ての家庭に子供がいました。

しかしながら、全て市民とはいかず、JC会員、シニア会員が半数を占めるという結果になっていました。

ホームステイを受けた会員の話を聞くと、すごく楽しかった。子供もすごく喜んでとても勉強になったと話しておりました。また、海外の方に体験していただくことは、日常であるのが良いみたいです。一緒に料理を作ったり、スーパーにいたり、回転すしも人気だったと聞きました。

※荷物運搬

(海外デリゲイツの荷物搬出)日本、熊本協働しました。

デリゲイツが宿泊しているホテル3か所から、荷物をホームステイマッチングの場所まで移動します。

デリゲイツの荷物は多く、トラックで2往復する必要があります。とても重いです。

○2017年7月8日(土)

①ホームステイ(熊本JC)

この日は、熊本側、日本側もゆっくりとした一日です。明日以降の本番に向けての準備をしています。

②国内参加者説明会(日本JC)

国内の参加者が集まり、説明会、懇親会などを行っています。

○2017年7月9日(日)

①成功祈願祭(日本JC)

雨が降り少し予定と違う動きをしたが、何とか雨の合間をぬって実行。写真撮影など予定とは異なりました。

集合写真は体育館で行いました。

②開講式(日本JC)

セレモニー。司会は英語にて。受付など混雑になるため、リストに作成など事前の準備が必要です。

③モジュール1(日本JC)

チーム分けなど

④ウェルカムパーティー(熊本JC)

太鼓、剣舞など日本文化を感じる設えです。市長など来賓も参加します。

④フェローシップサロン

巨大紙相撲をやっていた。トントン相撲の巨大なものなので海外の人たちにも受けやすく楽しんでいる様子でした。
ギターやピアノなど楽器があったため、それで盛り上がっているデリゲイツもいました。

※夜警

ここから夜の外出などが一切できなくなるので、戸惑う海外デリゲイツが多数います。
なぜ外に出られないのか？などもめることがあります。

○2017年7月10日(月)

①モーニングセッション1(日本JC)

くまもん体操をおどる。明日のギネス挑戦のための事前練習など

②モジュール2(日本JC)

③モジュール3(日本JC)

④モジュール4(日本JC)

⑤食文化プログラム(熊本JC)

熊本城のふもとにある城彩苑は、昔ながらの街並みを再現した所です。

お昼はお土産物を売っているところなのですが、その場所を借り熊本の食を楽しんでもらっていました。

設えとして、浴衣の無料貸し出し。縁日などのゲーム風船すくい、かき氷、射的など。

デリゲイツは楽しんだ様子でした。

2017年7月11日(火)

①モーニングセッション2(日本JC)

くまモンダンスでギネスに挑戦。

北部東小学校と協働。

当初の計画より時間がかかっていました。

小学生による歓迎セレモニー

貨物列車というじゃんけんゲーム

ダンスレッスン

※この日はとても暑く、体育館内で、扇風機や水など用意はしていたが、熱中症になる子供がいました。夏場での熱中症対策はしっかりしないといけません。

熊本市内テレビ局5社すべてが取材に訪れた。3社に関しては初めから放送予定ありました。

②モジュール5(日本JC)

③特別モジュール(日本JC)

④モジュール6(日本JC)

⑤宿題(日本JC)

※この日はほぼ徹夜になるので夜間警備が必要。備品の対応などに追われます。

2017年7月12日(水)

①モジュール7(日本JC)

②モジュール8(日本JC)

③開催地プログラム(熊本JC)

熊本地震の道路の崩落現場の視察。水が有名なところですので、阿蘇神社、門前町にて水汲み体験をしました。

飲める地下水などは海外デリゲイツにとって珍しいようです。買い物なども楽しまれていました。

その阿蘇火山博物館、阿蘇スーパーリンクに行き阿蘇がどのような場所なのかなどを知る設えとなっていました。

市民とのかかわりは、通訳ボランティアガイド。

④フェローシップサロン3(日本JC)

コスプレパーティー。最後の夜とあって大盛り上がり。12時まで盛り上がっていました。

この日は門限が2時だということもありホテルの各部屋でも盛り上がります。

※深夜3時を過ぎても盛り上がっているところもあり、夜警が必要。問題がおきる日はこの日です。

2017年7月13日(木)

①JCI会頭セミナー(日本JC)

②モジュール9(日本JC)

③卒業式(日本JC)

※裏で荷物の搬送などを行っています。荷物の紛失やどこ行ったのかわからなくなるため、クレームがあります。

トラックの手配や人の運輸などでもめることがあります。日本側とよく話すことが重要です。

④フェアウェルパーティー(熊本JC)

ホームステイホストファミリーとの最後の別れ。涙ぐむなど感動のシーンが見られます。

※デリゲイツは正装で参加。

⑤アフターパーティー

最後の打ち上げパーティーです。

※この裏で礼装などの返却があります。(日本JC)。

■最後に

第30回国際アカデミーIN熊本は、市民との協働という点では、通訳ボランティア、ガイドなどがメインとなっておりました。

子どもたちなど青少年に特化した国際アカデミーだと感じました。

学校関係者からありがとうございます。ぜひまた開催してくださいなどの声もあった様子。子どもたちも多くの海外デリゲイツと触れ合うことで新たな発見があったと思います。

学校は、プログラムを含め4校との協働。ホームステイに関しても、もっと年齢的で縛りを持たせてもよかったのではないかという意見もありました。

食文化プログラムなどはご飯も豊富で、ハラルなどの食べられる、食べられないなどの問題はあまり出ていませんでした。

日本JCと開催地の話し合いは、必要だと感じます。毎年あることだという話がありますが、円滑に運営していくにはどこで、だれが、何をするのか。責任者が誰なのかを明確にして行くことが重要だと感じます。

姫路開催においても、ホームステイ、学校プログラムは重要だと感じます。

開催地の子供たちに国際交流をしてもらうことは未来に繋がると思います。開催地プログラムにおいて、書写山や姫路城などの観光地、写経やお茶などの日本の文化、姫路の魅力を感じていただくことも重要だと思います。単純にわかりやすく伝わりやすいものが大切だと感じました。

姫路開催が素晴らしいものになることを期待しております。

■おわりに

2017年度国際アカデミー招致委員会の委員長という立場をいただき、お城まつり、HIMEJI DREAM FESTAなどの事業、また公益社団日本青年会議所国際アカデミー委員会に出向させていただきました。ありがとうございました。

本年度は、公益社団法人姫路青年会議所が取り組んだ実績が少ない、通訳ボランティア、ホームステイホストファミリーの調査を主に考え実施いたしました。

この報告書は、国際アカデミーとは何かを簡単に知ることができるまとめとして、また、本年度の取り組みが国際アカデミー開催時に、連携先として少しでも力になれるよう調査したものを書かせていただきました。

国際アカデミーを体験し、調査を行う中で、経験された多くの方が、国際アカデミーが転機となり、そこから考え方が変わったと言っておられました。開催は、行政や学校関係者、企業や各種団体の方々と一緒にプログラムや設営などを企画することで、地域のこと、自国のことを再認識します。共に汗を流した経験は、必ず生きてくると思います。

外国人との国際交流を通し、世界の一員として、国のことを想い、地域を大切にすることで、アイデンティティが形成され、地域や国家、世界に、変化を起こすことが出来る人材となることが期待されています。まさに「まちづくり」「ひとづくり」であり、「人の意識を変える」というJC運動の発信だと私は信じております。

国際アカデミーを姫路で開催することは、多くの方々に姫路のファンになっていただける機会となり、公益社団法人姫路青年会議所として、行政、各種団体との連携がより密になり、今まで以上に地域社会から必要とされます。そしてもっと大きな国際会議招致開催に繋がり、兵庫県の中核都市姫路としてまちの発展に繋がって行くことだと考えます。

国際アカデミーの開催を心より望んでおります。1年間本当にありがとうございました。

国際アカデミー招致委員会
委員長 本田 龍祐